

## 令和6年度HIPRAC人材育成セミナー 広島がん高精度放射線治療センター技術支援ワーキンググループ主催 第4回広島放射線治療技術支援シンポジウムを開催しました！

令和6年8月27日（火）に第4回広島放射線治療技術支援シンポジウムを、現地参加とZoom併用のハイブリッド形式で開催いたしました。

本シンポジウムでは、現在HIPRACが実施している技術支援ワーキンググループの活動にご参加いただいている施設担当者を対象に、現状の課題や参加施設からの要望等について情報収集や議論を行っています。今後も継続して年1回開催することとしております。

広島県内の放射線治療7施設の他、県外の15施設の医学物理士、診療放射線技師など31名にご参加いただきました。多くの質疑やコメントをいただき、HIPRAC技術支援参加施設との情報交換がなされ、今後の課題などを議論しました。

時間	内容	所属・氏名
18:30-18:35	開会の挨拶	HIPRAC 影本 正之 センター長
18:35-19:55	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前回WG会議議事録の確認</li> <li>2. TG-1：外部放射線治療装置の出力線量管理調査</li> <li>3. TG-2：放射線治療計画装置の不均質補正管理調査</li> <li>4. TG-4：IGRTとCT値-密度変換テーブル調査</li> <li>5. TG-5：小型線量計プロジェクト</li> <li>6. 技術支援ワーキング活動の広報</li> <li>7. 技術支援データ管理サーバ</li> <li>8. 実施証明書・報告書の電子化、 第2回電子線調査報告、 標準計測法24に基づく訪問調査手法の構築 HIPRAC技術支援の開催するセミナー</li> <li>9. 学会発表等の予定・実績</li> <li>10. 参加施設からのご要望・質疑</li> <li>11. その他</li> </ol>	HIPRACおよび4基幹病院 委員
19:55-20:00	閉会の挨拶	HIPRAC 小澤 修一 医学物理士長

おかげさまで、県外の施設からの参加が増えており、Web会議の需要が益々高まっていることを感じました。

参加者アンケートの結果では、これまでの調査内容に加え、TG-4調査の一般施設への参加受入や、新たに活動を開始したりニアック出力に関する期待感が高いことが分かり、ワーキンググループ委員一同大変励みになりました。また、次回の放射線治療品質管理人材育成セミナーへの要望も多数いただきました。

HIPRAC技術支援ワーキンググループでは、時代の流れに適切に対応し、放射線治療の安全確保のための支援活動を引き続き充実させてまいります。

HIPRACでは、今後も各種活動や人材育成セミナーを企画・検討しておりますので、みなさま是非ご参加下さい！

